

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 平成 29 年度 事業報告書

### 公 1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

## 1 各種情報の収集、発信及び啓発

### (1) 広報活動事業

#### ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。賛助会員及び関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・発行回数：年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）
- ・発行部数：各号 4,500 部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第 79 号	H29. 6. 20	(特集) 京町家空き家相談会 「京あるき in 東京」 他
第 80 号	H29. 9. 20	(特集) 成逸のまちづくり 「クラウドファンディング蔵や (せいか堂)」 他
第 81 号	H29. 12. 20	(特集) (20 周年) 20 年の歩み・簡易年表・イベントスケジュール 「事業内容、なんでも相談」 他
第 82 号	H30. 3. 20	(特集) (20 周年) メインシンポジウム 「まちづくり相談」 他

#### イ 財団ホームページ等

平成 28 年 3 月に新規開設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。また、財団公式フェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団独自ホームページアクセス件数 73,951 件（平成 28 年度末実績 68,483 件）
- ・ひと・まち交流館内・センター（施設）ホームページアクセス件数 241,674 件（平成 28 年度末実績 233,125 件）
- ・メールマガジンの配信 39 回（平成 28 年度末実績 39 回）
- ・メールマガジン購読者数 1,757 人（平成 28 年度末実績 1,688 人）
- ・公式フェイスブックページ投稿数 37 件（平成 28 年度末実績 61 件）

## ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

### (ア) 冊子等の販売

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」                  | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生                         | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ わたしの家物語                        | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ 京のまちづくり史                       | (株式会社昭和堂)              |
| ⑤ 大学的京都ガイド                       | (株式会社昭和堂)              |
| ⑥ 京都・岡崎年代史                       | (京都岡崎魅力づくり推進協議会)       |
| ⑦ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy)        |
| ⑧ 町家型共同住宅設計ガイドブック                | (京都市)                  |

### (イ) 京町家キット等の販売

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 京町家等の組み立て式キット | (株式会社さんけい)             |
| 京町家ポストカード     | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

## (2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向け行動する取組を推進する。

そのために、平成 29 年度は、地域リーダー及び新たな担い手を養成するための講座を実施するとともに、地域住民や学生等に対して、地域活動への参画のきっかけとなる機会を提供し、まちづくりに関する気運を高める効果的な講座を実施した。

さらに、京町家の保全・再生に向けて、京町家の価値を再考するとともに、主に京町家の所有者、居住者、居住や利活用を検討している方を対象にした実践を重視したカリキュラムにより、京町家の継承等に係る基本的な課題解決を図る。

なお、平成 29 年度は、京都のまちづくりの歴史や京町家の再生に関するセミナーについては、自主財源増加の取組として有料で実施した。

## ア 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

※内容 (全 6 回) 有料 1 回 500 円 (通年受講は 2,000 円)

開催日	講座名	講師 (話し手)	出席者
H29. 4. 20	“町家の魅力” を高めるための改修設計	松井 薫氏 (京町家情報センター代表)	20
H29. 5. 18	安心・安全な町家暮らしを支える改修工事のポイント	片山 泰秀氏、竹内 智治氏 (京都府建築工業協同組合)	21

H29. 7. 4	町家を引き継ぐための備え・相続に関する最新事情	内藤 卓氏 (はるかぜ総合司法書士事務所 代表)	10
H29. 8. 22	プロとともに進める！ 町家の活用とその手続	大前 温彦氏 (公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会)	22
H29. 9. 2	解決しよう！相続の疑問 ～専門家と話す町家の相続問題～	三方 正行氏 (司法書士法人みかた 司法書士) 大江 孝明氏 (税理士法人京都経営 税理士) 田中 伸氏 (田中伸法律事務所 弁護士) コーディネーター 井上 誠二氏 (一社) 相続相談センター 副理事長)	35
H30. 1. 27	家+庭=家庭 ～町家のお庭～	小川 勝章氏 (植治 次期十二代)	22
合 計			130

#### イ 京町家再生セミナー関連企画 (有料) 全2回 1,000円/回

町家の所有者、居住者のみならず、京町家の概論や現場見学を通じ、広く市民に京町家の基礎を知っていただき、町家ファン、町家支援者の増加を目指した。

開催日	講座名	講 師 (話し手)	出席者
H29. 12. 16	銘木屋の建てた京町家～高瀬川と京町家のつながり～	中川 敦子氏 (千本銘木商会 代表取締役 / 酢屋 10代目当主) 【酢屋】	17
H30. 2. 4	京町家で感じる四季の彩り：伊藤邸・立春のしつらえ ※まちづくりファンドオープンハウス合同企画	【伊藤邸】 伊藤 正人氏 (大阪市立大学名誉教授)	11
合 計			28

#### ウ 再生事例見学会 (有料) 受講料 500円

開催日	イベント名	実施会場 (オープンハウス) : 講師	参加者
H29. 6. 17	和東茶を楽しむ町家カフェ：空き家相談から改修計画、活用までの経緯を学ぶ 【後援】古材文化の会	熊田氏 (認定 NPO 法人古材文化の会)、喜多見氏 (オーナー) 【きっさこ和東】※専門講座同日開催	26
合 計			26

#### エ 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えた。

※内容 (全9回) 有料 1回1,000円 (通年受講は5,000円)

開催日	講座名	講 師	出席者 (通年+単回)
H29. 5. 26	都市・京都の成立：京都のまちづくりの原点をたどる	高橋康夫氏 (京都大学名誉教授)	35 (20+15)
H29. 6. 30	京町家の成立と発展：その歴史性と多様性	大場修氏 (京都府立大学大学院教授)	43 (18+25)

H29. 8. 25	町式目と町人のまちづくり	丸山俊明氏（びわこ学院大学教授）	34 (14+20)
H29. 9. 29	京都の地域自治の成り立ちを知る	田中志敬氏（福井大学講師）	23 (14+9)
H29. 10. 27	京都イメージと景観	中嶋節子氏（京都大学大学院教授）	34 (17+17)
H29. 12. 2	まち歩き講座「三条通を歩く」	森本浩行氏（京の三条通まちづくり協議会会長） 篁正康氏（京都府建築士会まちづくり委員）	9
H29. 12. 15	京都の近代：都市の再編とコミュニティ	中川理氏（京都工芸繊維大学大学院教授）	29 (15+14)
H30. 1. 26	京都の伝統産業と文化・まちの形成	滋野浩毅氏（京都産業大学教授）	15 (8+7)
H30. 2. 16	京都の祭の成立と地域の人々	五島邦治氏（京都造形芸術大学教授）	28 (14+14)
合 計			250

#### オ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

#### (7) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

なお、一部の講座修了者については、当財団のまちづくり専門家として派遣し実践の場を提供することで、専門家の育成を図った。

#### ・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H29. 7. 8	基礎理論（1）	堀繁氏（東京大学大学院教授）	40
2	H29. 8. 19	基礎理論（2）	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	33
3	H29. 9. 16	京都のまちの形成と景観史	高橋康夫氏（京都大学名誉教授）、 中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	33
4	H29. 10. 21	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（金沢工業大学准教授）、 篠原修氏（東京大学名誉教授、GS デザイン 会議代表）	29
5	H29. 11. 25	京の生活文化	谷晃氏（野村美術館館長）、矢ヶ崎善太郎（京 都工芸繊維大学大学院准教授）	30
6	H29. 12. 16	景観政策と法律	飯田昭氏（弁護士）、石田光廣氏（司法書士）	23

7	H30.1.20	建築とランドスケープ	佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授）、 江川直樹氏（関西大学教授）、 笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	21
8	H30.2.17	景観まちづくり・修了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	22

・実践講座（全7回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	H29.6.24	オリエンテーリング	—	9
		色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	9
2	H29.7.9	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	10
3	H29.7.29	「地域景観づくり協議会の立 ち上げと運営」	森川宏剛氏（京都景観フォーラム）	9
4	H29.9.9	対話型ファシリテーター講座	中田豊一氏（ソムニード、参加型開発研究 所）	8
	H29.9.27	フォローアップ講座		4
5	H29.10.14	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（大阪芸術大学）	8
6	H29.11.18	発表・グループ提案	—	9
7	H30.2.17	実践レポート発表・修了式	—	9

(イ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを実践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催した。

なお、講座修了者のうち古材文化の会から推薦のあった者について、京町家専門相談員として登録し実践の場を提供することで、専門家の育成を図った。

・育成講座（第9期）

回	開催日	内 容	講 師
平成28年度開催			
1	H29.1.14	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（NPO法人古材文化の会） 寺田敏紀（（公財）京都市景観・まちづくりセンター）
2	H29.1.28	民家建築	中川等氏（大阪産業大学）
		文化財保護法	武内正和氏（文化庁）
		京都の文化財	石川祐一氏（京都市）
3	H29.2.11	住宅建築	日向進氏（NPO法人古材文化の会）
		歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ氏（秦家住宅）
		見学	秦家住宅、杉本家住宅
4	H29.2.25	寺社建築	菅澤茂氏（工学院大学）

		歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男氏（瓦葺職）
		歴史的建造物の技法／左官	浅原雄三氏（左官職）
		指物の技法	大谷普賢氏（伝統工芸士）
5	H29. 3. 11	演習 1 指定文化財修理の現場見学 ／仁和寺観音堂	吉田理氏（京都府）
6	H29. 3. 25	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏（弁護士）
		保存・活用のマネジメント	宗田好史氏（京都府立大学大学）
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介氏（建築家）
平成 29 年度開催			
7	H29. 4. 8	庭園の様式	仲隆裕氏（京都造形芸術大学）
		近代洋風建築	石田潤一郎氏（京都工芸繊維大学）
		歴史的建造物の調査と評価	中川等氏（大阪産業大学）
8	H29. 4. 22	演習 2 登録文化財調査	石川祐一氏（京都市）、中川等氏（大阪産業大学）、中村則正氏・永松尚氏・中井玲子氏・城市智幸氏（建築家）
9	H29. 5. 6	歴史的建造物と耐震補強	井上年和氏（建築研究協会）
9	H29. 5. 6	保存・活用と再生設計／構造設計	奥田辰雄氏（構造設計家）
		保存・活用と再生設計／構造設計	木下龍一氏（建築家）
		演習 2 の中間報告 修了課題の中間報告	
10	H29. 5. 20	歴史的環境の整備	山崎正史氏（立命館大学教授）
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田敦子氏（建築家）
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介氏（建築家）
		・演習 2 の講評 ・演習 3 の説明 ・修了課題の中間報告	—
11	H29. 6. 3	演習 3 保存・活用相談	NPO 法人古材文化の会の建築家と構造設計家
12	H29. 6. 17	建築基準法・景観法	（京都市）
		演習 3 の講評	—
		修了課題の中間報告	—
13	H29. 7. 1	歴史的建造物と防災対策	益田兼房氏 （国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会）
		歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子氏（税理士）
		講座修了課題中間発表会	—
14	H29. 7. 22	修了課題発表会	—

#### ・ 育成講座（第 10 期）

回	開催日	内 容	講 師
1	H30. 1. 13	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（NPO 法人古材文化の会） 関岡孝繕氏（京都市）
2	H30. 1. 27	民家建築	中川等氏（大阪産業大学）
		寺社建築	菅澤 茂氏（工学院大学）
		京都の文化財	石川祐一氏（京都市）
3	H30. 2. 10	住宅建築	日向進氏（NPO 法人古材文化の会）

		歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ氏（秦家住宅）
		見学	秦家住宅（京都市登録有形文化財） 杉本家住宅（重要文化財）
4	H30. 2. 24	文化財保護法	武内正和氏（文化庁）
		歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男氏（瓦葺職）
		歴史的建造物の技法／左官	浅原雄三氏（左官職）
		指物の技法	大谷普賢氏（伝統工芸士）
5	H30. 3. 10	演習 1 指定文化財修理の現場見学 ／西本願寺飛雲閣	
6	H30. 3. 24	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏（弁護士）
		保存・活用のマネジメント	宗田好史氏（京都府立大学大学）
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介氏（建築家）

### ・上級講座（第 5 期・実践）

回	開催日	内 容	講 師
平成 28 年度開催			
1	H28. 12. 11	実践課題の進め方	評価・判定コース 中川等氏 （大阪産業大学） 保存・活用コース 古賀芳智氏（建築家） 白石秀知氏 （NPO 法人古材文化の会）
		歴史的建造物の調査方法と報告書のまとめ方	
		課題テーマの意見交換	
2	H29. 1. 28	調査対象の相談	
3	H29. 2. 25	調査対象の決定・発表	各コース担当者
4	H29. 3. 25	課題中間報告	各コース担当者
平成 29 年度開催			
5	H29. 4. 8	課題中間報告	各コース担当者
6	H29. 4. 22	評価・判定コース 育成講座演習 2 の現地指導に参加	各演習担当者
7	H29. 5. 6	課題中間報告	各コース担当者
8	H29. 5. 20	課題中間報告	各コース担当者
9	H29. 6. 3	保存・活用コース 育成講座演習 3 の現地指導に参加	各演習担当者
10	H29. 6. 17	課題中間報告	各コース担当者
11	H29. 7. 1	課題中間報告	各コース担当者
12	H29. 7. 15	報告書と発表会用レジメの提出及び概略説明	各コース担当者
13	H29. 8. 5	報告書と発表会用レジメの仮返却	各コース担当者
14	H29. 8. 16	報告書と発表会用レジメの本提出	
15	H29. 8. 19	発表会及び修了式	上級講座審査員ほか

文化財マネージャー（建造物）スキルアップ講座として第 3 回講座を当財団が企画開催した。

第 3 回スキルアップ講座 <京町家カルテの実務講習会>

日時：平成 30 年 2 月 24 日（土）9 時 40 分～受付 10 時 00 分～16 時 15 分

場所： ワークショップルーム／午後は下京区の町家

内容：「京町家カルテ」の調査及び文化レポートの作成体験を通じて、文化レポートの作成技術の取得とスキルアップを図るための講義及び演習。

講師：大場修先生、栗山裕子氏、まちセン担当者

## 2 市民等の活動に対する総合的支援

### (1) 地域活動支援

平成 29 年度は、京都市と連携し防災まちづくりに取り組む地域を重点的に支援するとともに、地域の魅力向上や課題解決に向けて、建物や空間のルールづくりに取り組む地域の支援も継続し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進め、また地域まちづくりや京町家の継承のためには、信頼できる実務者を充実させることが必要であり、当財団の使命として、実践を通じてまちづくり専門家の育成を行った。

#### ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

・相談・支援件数 423 件（平成 28 年度 383 件）

相談項目	29 年度件数	28 年度件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	379	359
マンション問題	14	5
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	14	4
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	96	107
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	41	16
防災まちづくり（29 年度に新設した項目）	224	—
まちづくりコーディネート事業	362	325
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	81	62
合計（※項目ごとの件数の累計）	1211	878

#### イ まちづくり活動助成

主として都市計画手法を活用した課題解決（地区計画、建築協定、防災まちづくり、地域景観づくり協議会、空き家活用等）に継続的に取り組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催等）について 3 年間で限度に助成する。

平成 29 年度は、防災まちづくり計画策定後の地域への助成を新たに展開するとともに、より利用しやすくなるよう改善を図り、活動初期段階の地域を中心に、早い段階から働きかけや制度の周知に努めた。

## ウ まちづくり専門家派遣

地域課題に応じて、登録専門家や若手専門家を地域に派遣して、活動への助言、地域の将来ビジョンづくり、ビジョンを踏まえたルールづくり、主として都市計画手法を活用した課題解決（地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定、防災まちづくり、空き家活用等）等の支援を行う。

多くの地域がまちづくりの担い手不足等の地域まちづくりの課題を抱えており、地域に長期かつ持続的に地域まちづくり支援を行う、地域まちづくり専門家の充実が不可欠である。

平成 29 年度は、若手専門家を積極的に地域に派遣し、実践を通じて専門家の育成を行うことにより、専門家派遣制度を充実させ、地域課題への対応力の強化を図った。

## エ 景観づくり支援（京都市受託事業）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、京都市が実施する地域景観づくり協議会制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等、制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を行った。

### (7) 「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議を企画・運営し、各地域間の情報及び課題の共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

#### 【「京都市地域景観まちづくりネットワーク」構成団体】

（中京区）先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会

（下京区）修徳景観づくり協議会

（東山区）西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会、祇園新橋まちづくり協議会

（右京区）仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会

（西京区）桂坂景観づくり協議会（計 10 地区）

### (4) 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

各協議会が実施する意見交換会等の活動や、今後協議会制度の活用尾を検討する地域の活動に対して、現状にあった支援（専門家派遣等）を行った。

#### 【支援状況】

地区	状況	支援内容（支援年度）
東山区 清水学区 一念坂・二寧坂	協議会 設立済 計画書策 定済	「一念坂・二年坂 古都に燃える会」への活動支援 ・29年度は、地域内周知用の屋外広告物の具体的な制作検討及び地域での検討会のため、専門家を派遣した。
右京区 仁和寺門前		「仁和寺門前まちづくり協議会」への活動支援 ・29年度は、当該地区に建設されるホテルの事業者との事前協議における対応及び景観づくり計画書の改定案について、専門家を派遣し助言を行った。
西京区 桂坂学区		「桂坂景観まちづくり協議会」への活動支援 ・29年度は、地域住民への景観まちづくり活動への意識啓発を目指した「桂坂あそべるしぜん図鑑」作成にあたり、図鑑の編集作業等に助言を行うため、専門家を派遣した。
東山区	協議会	「祇園新橋景観づくり協議会」への活動支援

弥栄学区 元吉町	設立済	・29年度は、地域景観づくり計画書の策定に向けた協議や、並行して地域のさまざまな課題の解決に向けた協議を進めるため、専門家を派遣した。
右京区 嵯峨学区 嵐山本町地区	協議会 設立に 向け 取組中	「嵐山まちづくり協議会」の設立支援 ・28年度から引き続き専門家派遣を行い、協議会設立に向けて、資料作成やアンケートを実施した。 ※平成30年4月19日に協議会は設立している。

#### (ウ) 新景観政策10周年特別連続講座の開催

新景観政策10周年を記念し、政策の趣旨や成果を改めて確認するとともに、今後の政策の展開に向けて議論を深めるため、各分野の有識者による特別連続講座開催した。

##### 【新景観政策10周年記念事業 特別連続講座概要】

日程	テーマ	講師等（敬称略）	参加者
9月21日 (木)	都市の活力を生み出す景観	・面出薫 照明デザイナー	80
		・若林靖永 京都大学教授	
		・大島祥子 スーク創生事務所代表	
10月5日 (木)	コミュニティと景観まちづくり	・嘉名光市 大阪市立大学教授	80
		・田中志敬 福井大学国際地域学部講師	
		・杉崎和久 法政大学教授	
10月19日 (木)	景観を紡ぎだすデザイン	・中村良夫 元京都大学教授	110
		・青木淳 青木淳建築計画事務所主宰	
		・中嶋節子 京都大学教授	
11月2日 (木)	景観・文化の継承と創造	・佐々木雅幸 文化庁主任研究官	100
		・濱崎加奈子 有斐斎弘道館館長	
		・阿部大輔 龍谷大学准教授	

## オ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

京都市では「歴史都市京都における密集市街地対策等の取組方針」に基づき、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」（以下「優先地区」）において、地域と行政が一体となった防災まちづくりが進められている。

平成29年度は、優先地区以外の密集市街地（学区単位）における防災まちづくり計画の策定等に向けた活動や、優先地区における防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。

##### 【派遣地区における支援状況】

地区	状況	支援内容
下京区 菊浜学区 【新規】	計画 策定に向 け	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 29年度は、地域住民への啓発及び課題の共有、地域の実態把握等のため、防災まちあるきや防災ワークショップ等を実施した。 (防災まちづくりの取組1年目)
下京区 有隣学区	取組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 29年度は、防災マップ作製に向けた地域の現状把握及び課題の共

		有のため、防災まちあるきやワークショップ等を実施した。 (防災まちづくりの取組2年目)
北区 紫野学区 ※	計画 策定済	防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組4年目)
上京区 仁和学区 ※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、専門家を派遣し、仁和まつりにおける防災まちづくり の取組の啓発を行った。 (防災まちづくりの取組6年目)
上京区 翔鸞学区 ※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、防災まちづくり計画の実現に向けて、専門家を派遣し、 勉強会を開催した。 (防災まちづくりの取組5年目)
中京区 朱雀第一 学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、専門家を派遣し、防災ワークショップを開催した。 (防災まちづくりの取組4年目)
中京区 朱雀第二 学区※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、専門家を派遣し、防災ワークショップを開催した。 (防災まちづくりの取組5年目)
東山区 六原学区 ※		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 29年度は、路地名のさらなる周知を目的に、子供向けの取組とし て、防災すごろくを作成した。 (防災まちづくりの取組6年目)

【新規】は、平成29年度から新たに支援を行った地域

※付の地区は、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」を示す。

## (2) 京町家再生支援

### ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

#### (7) 一般相談 454件（平成28年度実績 484件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

#### (イ) 専門相談 49件（平成28年度実績 32件）

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。

#### 【相談項目内訳】

相談項目	一般相談件数	専門相談件数	合計件数
改修・修繕	161	30	191
活用	133	24	157
賃貸	37	8	45
売買	21	7	28
耐震、防火	12	2	14

相隣問題	12	1	13
相続、所有権関係	20	4	24
維持・管理	24	2	26
資金、公的な支援制度	87	4	91
京町家まちづくりファンド	113	2	115
京町家カルテ	39	0	39
京町家等継承ネット	57	0	57
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	31	11	42
合計件数	747	95	842

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

（参考）京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

一般相談 7件	
専門相談 16件	
京町家・空き家相談会	9
京町家・空き家相談会後の往訪相談（新規）	4
大型町家継承モデルプロジェクト往訪相談（新規）	7

#### (ウ) 京町家専門相談員

京町家の保全・再生に向けて、支援専門家の育成が不可欠となっている。当財団では、学識・有識者のほか、京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府建築士事務所協会、京都府宅地建物取引業協会、認定特定非営利活動法人古材文化の会から推薦を受け、京町家専門相談員を登録している。

京町家専門相談員登録者数 74名（平成30年4月1日現在）

## イ 京町家専門講座

建築、不動産業等に携わる専門家を対象に、京町家に関する概論、技術、流通、制度等を学ぶための専門講座を実施した。なお、本講座は、京町家専門相談員研修会を兼ねて実施している。

なお、平成29年度は受講料について、自主財源増加の取組として、有料化した（ただし、当財団の専門相談員については、相談員の拡充、育成を図るため従来どおり無料で実施した。）。

開催日	講座名	講師	出席者
H29. 4. 17	竣工見学会（オープンハウス）	林氏、末川氏、辻氏 【四条町大船鉾会所】	62
H29. 6. 17	和東茶を楽しむ町家カフェ：空き家相談から改修計画、活用までの経緯を学ぶ	熊田氏（認定NPO法人古材文化の会）、喜多見氏（オーナー） 【きっさこ和東】※再セミ同日開催	21
H29. 12. 21	「京都市京町家の保全及び継承に関する条例（仮称）」に関する説明	高田光雄氏（京都美術工芸大学教授・京町家等継承ネット代表） 関岡孝繕氏（京都市）	27
		合計	110

## ウ 京町家データベース

平成 20、21 年度京町家まちづくり調査によって調査した約 48,000 件の京町家等を元に I D 管理された物件を G I S（地理情報システム）上で地理的に管理する。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に一元的に管理する京町家データベースを運営する。

平成 29 年度は、京都市が平成 28 年度に実施した「現存する京町家に対する基礎調査結果データ」を反映して運営した。

## エ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成 26 年 11 月 21 日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学大名誉教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組む。

平成 29 年度は京町家条例の制定を踏まえ、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談の対応を行うとともに、継承・活用のニーズの把握等、継承ネットがその受け皿となった。特に大型町家の継承に対する具体的な支援策の充実が急務であり、継承ネットとしての支援システムの確立を目指した。また、会員との連携を強化する活動を行った。

### (7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
H29. 5. 31	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	14
H29. 6. 16	京町家等継承ネット第 4 回全体会議 ・前年度決算、事業計画等の承認	41
H29. 12. 7	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	12

### (4) 普及・啓発の取組

#### 集中相談会

京町家・空き家の所有者や居住者を対象とした集中相談会を開催した。集中相談会の周知については、京都市と協力し、京町家まちづくり調査（平成 20、21 年度）のデータを元にポスティングによる配布を行った。所有者・居住者に直接、相談会や支援制度のご案内をすることができた。

#### a 京町家・空き家相談会の開催

開催日	会場	参加者
H30. 3. 4	京都市景観・まちづくりセンター	専門相談 9 件、一般相談 7 件

## b 相談内容等

- ・ 修繕・改修、活用の相談が大多数を占めた。
- ・ 活用、相続、資金、事業継承等、複合的な悩みを抱える相談も少なくない。
- ・ 景観重要建造物等への指定提案や大型町家の継承に関するプロジェクト化が想定される案件も含まれる。
- ・ 相談会後も引き続き、専門相談等でフォローアップを行っている。

## c 参加専門相談員

推薦団体名	参加相談員数
京都府建築工業協同組合	2
一般社団法人 京都府建築士会	2
一般社団法人 京都府建築士事務所協会	1
公益社団法人 日本建築家協会近畿支部京都地域会	1
一般社団法人 京都建築設計監理協会	2
公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会	3
公益社団法人 全日本不動産協会 京都府本部	1
一般社団法人 京都府不動産コンサルティング協会	1
京町家居住支援者会議	1
都市居住推進研究会	1
京都弁護士会	1
京都司法書士会	3
公益社団法人 京都府不動産鑑定士協会	1
京都土地家屋調査士会	1
京都銀行	1
京都信用金庫	1
京都中央信用金庫	2
合計	25

## (ウ) 支援システムの開発に係る取組

大型町家の相談案件については、随時整理と情報共有を行い、モデルプロジェクトの進め方を検討した。また、京町家のマッチングシステムのあり方やその内容について、会員団体とともに検討を行っている。

### a 大型町家継承モデルプロジェクト往訪相談

(相談対応案件 30 件 うち新規 7 件、相談継続 24 件、相談完了 6 件)

京町家等継承ネットで受けた相談案件の大型町家について、継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。相談案件のうち、売買契約成立 3 件、賃貸借契約成立 3 件の成果があった。

### b 大型町家継承に向けた支援システムの開発

・ 継承・活用マッチングシステムとして「MATCHYA」の WEB、リーフレットを作成し、情報発信を行っている。

多様な活用事例を提示し、活用希望者を募る予定である。

・ 継承・活用の手法や事例について情報を収集した。

### c 京町家の新たな資金調達スキーム構築に関する検討会の実施

京町家等継承ネットの取組の一環として、一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会の呼びかけにより、クラウドファンディングを中心に新たな資金調達スキームに関する検討会を実施した。(計5回)

開催日	話題提供者
H29. 9. 14	京都市、京都市景観・まちづくりセンター（京町家まちづくりクラウドファンディング事業等） 京都府不動産コンサルティング協会（資金調達手法の実施報告）
H29. 10. 27	株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング 関西支社長 菊池凌輔氏 京都府不動産コンサルティング協会（京町家再生ファンドスキームについて） ミュージックセキュリティーズ株式会社 証券化事業部 周慶一氏
H29. 11. 29	京都銀行公務地域連携部地域活性化室 次長 福岡亮氏 京都中央信用金庫地域創生部 課長 宮嶋渉氏 （各金融機関の取組について）
H29. 12. 15	国土交通省土地・建設産業局不動産市場整備課不動産投資市場整備室 課長補佐 西川岩和氏 ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 取締役 執行役員 鵜飼達郎氏
H30. 1. 29	大阪商業大学大学院地域政策学研究科長・経済学部長 西嶋淳氏 他 （全体まとめの意見交換）

### 参加者

団体名	参加者数
学識者	2
一般社団法人 京都府不動産コンサルティング協会	7
京町家居住支援者会議	1
都市居住推進研究会	1
京町家情報センター	2
特定非営利活動法人京町家再生研究会	2
京都銀行	2
京都信用金庫	3
京都中央信用金庫	2
一般社団法人相続相談センター	2
京都市	4
景観・まちづくりセンター	4
オブザーバー	2
合計	34

### 3 各種団体等との交流及び協働活動

#### ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成 29 年度は、第 3 期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。平成 29 年 4 月 15 日に改修の完成披露式典を行い、7 月の祇園祭では広く市民に公開された。改修の記録を中心とした冊子、動画は京町家再生研究会が作成し、教育ツールとして活用される予定である。加えて、京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた釜座町町家と旧村西邸の活用に引き続き協力を行うとともに、本事業について、ホームページ等で国内外へ広く情報発信した。

(参考)

- 京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家（平成 23 年度）
- 第 2 期 旧村西家住宅（平成 24 年度）
- 第 3 期 四条町大船鉾会所（平成 28～29 年度）

〈第 3 期プロジェクト スケジュール〉

- H29. 4. 15 改修竣工記念式典
- H29. 4. 17 京町家専門講座にて改修に関する説明を開催
- H29. 7. 20 WMF の普及啓発行事として公開イベントを開催
- H29. 7 祇園祭にて一般公開
- H29. 11. 8 WMF のマクロード副理事長が京都市長を表敬訪問
- H30. 3. 26 WMF 稲垣日本代表よりユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞への申請に関する説明を受け、H30 年 5 月 15 日の締切に向けて申請準備を開始した。

### 4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

#### (1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

平成 29 年度は、財団経営の自律化の観点から自主事業した普及啓発事業について、特に集客イベントは当財団の事業と連動した取組、団体等からの協賛を得るなど、事業費を抑制しながら効果の拡大を目指した。

なお、寄附拡大については、特に寄附付き商品の拡充、イベントにおいて寄附を得るための仕組みづくりなど、基金の持続的な事業運営に向けて積極的に取り組んだ。

#### ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

平成 29 年 9 月 6 日 改修助成事業申請案件視察会開催

平成 29 年 9 月 8 日 第 37 回京町家まちづくりファンド委員会開催

平成 30 年 3 月 28 日 第 38 回京町家まちづくりファンド委員会開催

## イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

### (1) 普及啓発イベント

ファンドオープンハウス（一般向け：改修助成町家の見学会）

ファンド感謝祭（寄附者向け：事業報告会、寄附者表彰式、募金活動、アトラクション）

京あるき in 東京・京町家トーク（一般向け：事業紹介、基調講演）

### (2) 普及啓発 冊子発行（改修助成町家の紹介）

### (3) 寄附付き商品の新規開拓

### (4) 連携協定締結

## (ア) 普及啓発イベント

### (1) ファンドオープンハウス

#### ①小西邸（伏見区） 平成 24 年度選定

日時 1：平成 30 年 1 月 20 日（土）（参加者 9 名）

体験等：蔵の掃除体験

日時 2：平成 30 年 2 月 3 日（土）（参加者 23 名）

体験等：邦楽鑑賞

#### ②河崎邸（東山区） 平成 18 年度選定

日時：平成 30 年 1 月 21 日（日）（参加者 29 名）

体験等：お抹茶体験

#### ③寺島邸（上京区） 平成 23 年度選定

日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）（参加者 58 名）

体験等： —

#### ④谷村邸（上京区） 平成 26 年度選定（

日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）（参加者 68 名）

体験等：機織り

#### ⑤伊藤邸（南区） 平成 23 年度選定

日時：平成 30 年 2 月 4 日（日）（参加者 18 名）

体験等：京町家再生セミナー合同企画



### (2) 京町家まちづくりファンド感謝祭

日時：平成 30 年 2 月 10 日（土）13 時 30 分～16 時

会場：新島会館本館 2 階大ホール

登壇者：大場 修 氏（京町家まちづくりファンド委員会 委員長）

彬子女王殿下（（一社）心游舎総裁・京都市立芸術大学特別招聘研究員）

門川 大作（京都市長）、寺田 一博（京都市会議長）、他多数

内容：事業報告、基調講演、ゲストスピーチ、寄附者表彰式、アトラクション

参加者：89 名

寄附金：67,700円

※協賛：サッポロホールディングス（株）

(3) 京町家トーク「京都のまちなみと暮らしの文化」

（京あるき in 東京2018 京都創生連続講座 in 東京 関連企画）

日時：平成30年2月23日（金）13時～15時

会場：実践女子大学渋谷キャンパス 創立120周年記念館403教室

登壇者：畑 正高氏（香老舗 松栄堂 主人）

矢ヶ崎 善太郎氏（京都工芸繊維大学大学院准教授）

内容：ファンド事業紹介、基調講演、対談

参加者：270名

寄附金：99,000円

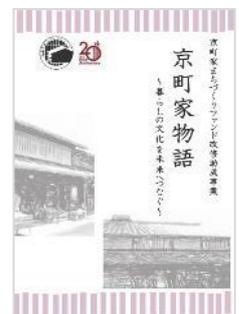
※協賛：（株）LIXILグループ

(イ) 普及啓発 冊子『京町家物語』発行

ファンド助成事業により改修された京町家の所有者による、豊かな暮らしの様子を紹介する冊子『京町家物語』を発行。

オープンハウス会場及びまちセン窓口で販売

販売額：200円（売上は全額ファンドに寄附）



(ウ) 寄附付き商品の新規開拓

一般財団法人長谷川歴史・文化・交流の家（平成23年度選定長谷川家）

商品：①長谷川家住宅オリジナル手ぬぐい「会津藩軍勢図」

②中昔京師地図 ③日本地図草紙

(エ) 連携協定締結

一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結。

(2) 京町家カルテ・京町家プロフィールの作成

京町家まちづくり調査の結果を受けた、京町家の新たな情報発信及び保全・継承等のための具体的手法の研究及び取組から、「京町家カルテ」事業を行う。また、カルテには、発行までの所要時間の長さや費用負担等の課題があったため、これらの課題に対応した、より簡便で利用しやすい「京町家プロフィール」を、平成28年12月に新たに創設した。

平成29年度は、京町家条例の制定を見据え、京町家カルテ及び京町家プロフィールを合わせ、一層の京町家の保全・活用を推進した。

・京町家カルテ発行件数 35件（平成28年度実績 55件）

・京町家プロフィール発行件数 65件（平成28年度実績 22件）

## 京町家カルテと京町家プロフィールの相違点

	京町家プロフィール	京町家カルテ
(1) 主な目的	京町家ローンの利用に繋げ、京町家の流通促進を図る。	京町家についての価値を所有者に認識していただき、保全・活用を図る。
(2) 主な構成内容	外観調査に基づく京町家の建物・意匠情報の建物・意匠情報	左記の他に、由緒沿革などの文化情報、建物の劣化状況などの建物情報、間取図
(3) 調査範囲	外観調査のみ (まちセンスタッフによる調査)	外観調査及び内部調査 (専門相談員(大工及び建築士)による調査)
(4) 申請手数料・作成料 <sup>※1</sup>	1万5千円	3万5千円
(5) 作成期間	申請から約1箇月 (最短2週間)	申請から約2箇月(大型案件の場合は、約3箇月)
(6) 京町家カルテ委員会 <sup>※2</sup> での審議	※3	2回 <sup>※4</sup>

※1 カルテ及びプロフィールの発行要件に不適合となった場合、費用負担は、申請手数料(5千円)のみ徴収する。

※2 カルテの内容や、カルテ及びプロフィールの発行要件に適合するかどうかについて審議を行う。

※3 発行要件に適合するかどうか疑義があるものについては、個別審議を行う。

※4 1回目にカルテ要件の適合性、2回目にカルテの内容について審議を行う。

### (3) 建物調査報告書作成業務(京都市受託事業)

保全・再生を目指す大型京町家等の所有者に対して、建物調査報告書作成の支援を行い、京都市の歴史的建造物関係各課と連携して、今後の保全や公的指定等に向けた取組を行った。

今年度は、京都市の受託事業として、京町家等4件について、建物調査報告書を作成した。



下京区



中京区



北区



中京区

#### (4) 京町家の適切な継承に向けたイベント運營業務（京都市受託事業）

京町家への移住又は活用を希望する人、京町家所有者又は相続予定者及び京町家継承の促進に協力いただける企業等が興味をもって参加できるようなイベントを、京都市が実施する京あるき in 東京 2018 のプログラムとして東京で開催するにあたり、本事業における企画・運營業務を行った。

講演会・相談会 「そうだ、京町家に住もう」

京都と東京の2都市で活動をしている永江朗氏と京町家を拠点に活動している石田結実氏を講師にお迎えし講演会を開催した。併せて、相談会では京町家等継承ネットの会員が相談員として対応し、京町家の所有や京都への移住を熱心に希望される方々の相談をお受けした。

日 時：平成30年2月24日（土）

講演会 13：30～15：15

相談会 15：30～17：30

会 場：京都アカデミアフォーラム in 丸の内

主 催：京都市

登壇者：永江 朗氏 フリーライター・書評家・エッセイスト

石田結実氏 「上羽絵惣」 十代目

司 会：西村孝平氏 株式会社八清代表取締役（相談員を兼任）

相談員：井上誠二氏 京都府不動産コンサルティング協会理事長

岡本秀巳氏 京都府不動産コンサルティング協会全コ協副会長

参加者：講演会 48名

相談会 6組

## 5 公共人材育成に関する教育及び研修

### (1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大 学	学 部 等	人数	受 入 期 間
京都女子大学	現代社会学部現代社会学科	2	H29. 8. 21-H29. 9. 15
京都府立大学	環境学部環境デザイン学科	2	H29. 8. 21-H29. 9. 15

## (2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。  
平成 29 年度は、自主財源増加の取組として、有料化（賛助会員加入）し実施した。

受入日	団体名	人数	内 容
H29. 4. 26	浜松市立開成中学校	10	京町家について、歴史的な町並みの保存について
H29. 6. 2	京都府立嵯峨野高校	5	京町家について
H29. 6. 9	韓国建築空間研究所	2	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 6. 17	IATSS（国際交通安全学会）	18	第 57 回 IATSS フォーラム 京都の伝統的な景観を守る取組等について
H29. 6. 19	臺北市政府都市發展局	3	センターの取組全般について
H29. 7. 6	NPO 法人金澤町家研究会	4	京町家の保全・再生の取組について
H29. 7. 7	タイ・タマサート大学	22	京町家の保全・再生の取組について
H29. 7. 28	京都造形芸術大学	13	まちづくり活動支援取組について
H29. 8. 4	JICA マレーシア タイピン市	6	京町家の保全・再生の取組について
H29. 8. 4	JICA 研修【世界遺産の適切な管理を通じた観光振興】	15	京町家の保全・再生の取組について
H29. 8. 16	タイ・チェンマイ市	17	京町家の保全・再生の取組について
H29. 8. 17	京都大学 PUKU 実行委員会	11	京町家について
H29. 8. 18	島根県松江市議会	6	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 9. 27	埼玉大学附属中学校	8	京都の景観政策とまちづくりについて
H29. 9. 28	出雲市立第 1 中学校 2 年 4 組	4	町家の保全について
H29. 9. 28	横浜国立大学付属鎌倉中学校	4	京都市の景観政策と南部開発について
H29. 10. 19	吹田市役所	3	クラウドファンディングについて
H29. 10. 23	大阪府住宅まちづくり部	2	クラウドファンディングについて
H29. 10. 31	長野県千曲（ちくま）市議会自由民主クラブほか会派視察	5	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 11. 7	WMF	2	大船鉾会所訪問、市長訪問
H29. 11. 9	大阪国際交流センター	26	京町家の保全・再生の取組みについて、長谷川家見学
H29. 11. 9	国土交通省都市開発金融支援室	2	クラウドファンディングについて
H29. 11. 10	豊田市区長会 4 役会	7	京都のまちづくりについて（主に防災）
H29. 11. 16	韓国住宅公社	15	姉小路の取組の概要説明
H29. 11. 22	一般財団法人海外産業人材育成協会視察受け入れ（バングラデシュ 26 名）	26	京町家の保全・再生の取組みについて

H29. 11. 29	内閣府	2	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 12. 3	追手門学院大学 善積ゼミ	11	・まちセンの活動について ・京町家の保存について ・京町家居住者について
H29. 12. 5	茗溪学園中学校	50	京都の景観維持について
H29. 12. 8	堺市議会	5	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 12. 15	タマサート大学	30	京町家の保全・再生の取組みについて
H29. 12. 20	岩手県議会出資法人等調査特別委員会	12	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 1. 16	有馬温泉観光協会	3	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 1. 27	京都府立城南菱創高校	3	京町家について
H30. 1. 31	韓国住居学会	30	京都のまちづくり、京町家の保全・再生の取組みについて（全体テーマは、韓国住居学会・都市住宅学会研究交流会「京都市におけるストック活用型都市再生の取り組み」）
H30. 2. 2	名古屋市議会	10	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 2. 7	静岡大学附属静岡中学校	4	・今も残る京都独自の町並、景観 ・お店の外装について（規定など）
H30. 2. 8	廿日市市立大野中学校	30	京都のまちづくりについて（主に防災）について
H30. 2. 23	長岡市東北中学校	8	京都市における景観政策について
H30. 2. 26	世界銀行	5	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 2. 28	コルゲート大学	12	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 8	上越市城北中学校	10	京都の歴史的な町並みの保全、活用について
H30. 3. 8	山梨県笛吹市議会（笛新会）	9	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 8	タイ・プラチャーティポック王立学院（KPI）	25	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 16	川越市	4	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 17	ハーバード大学デザインスクール	60	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 23	韓国	14	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 28	韓国	5	京町家の保全・再生の取組みについて
H30. 3. 28	岐阜市	1	京町家の保全・再生の取組みについて
合 計		586	

### (3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	人数	内 容
H29. 4. 11	市民大学院	12	京都市景観・まちづくりセンターの事業について
H29. 10. 7	第 57 回 I A T S S フォーラム	17	京都市の景観政策と京町家について
合 計		29	

## 6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンドの助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進すると共に、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

### 【歴史的風致形成建造物 指定済】3件



上京区



中京区



中京区

### 【今後、指定等につながる見込の案件】3件



北区（景観重要建造物）



左京区（景観重要建造物・  
歴史的風致形成建造物）



下京区（歴史的風致形成建造物）

【指定等に向けて相談継続中の案件】4件



上京区（歴史的風致形成建造物）



中京区（景観重要建造物・  
歴史的風致形成建造物）



中京区（歴史的風致形成建造物）



下京区（歴史的風致形成建造物）

【「京都を彩る建物や庭園」に推薦して選定された案件】4件



北区（再掲）



左京区（再掲）



中京区



下京区（再掲）

【「京都を彩る建物や庭園」制度の推薦を行っている案件】2件



上京区【再掲】



東山区

## 7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

平成 29 年度から 32 年度までのセンターの指定管理者として選定された。センターの来館者の増加、施設価値の向上を目的として、以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 59,212 人（平成 28 度末実績 56,463 人）

### (1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。ボランティアガイドを 9 名増員し、概ね毎日ボランティアが配置できる体制が整備された。これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

また、積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 33,900 人（平成 28 度末実績 26,980 人）

＜利用者拡大に向けた取組＞

- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加
- ・京都市内博物館施設連絡協議会スタンプラリー「第 23 回京都ミュージアムロード」に参加

### (2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

- ・所蔵資料数 平成 29 年度末時点 ※（）内は平成 28 年度末時点の点数。

内 訳	点 数
一般書籍	15,249 (15,280)
郷土資料	1,003 (962)
行政資料	1,377 (1,394)
視聴覚資料	311 (309)
雑誌	544 (655)
地図、絵本等	555 (567)
合計	19,039 (19,167)

- ・利用状況

内 訳	平成 29 年度末実績	平成 28 年度末実績
利用者数	23,061 人	21,145 人
利用者カード新規発行数	164 枚	191 枚
利用者カード延べ発行数	3,560 枚	3,396 枚
図書等貸出数	2,707 点	2,603 点

#### ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授，都市住宅学会初代会長，元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄 京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下，巽氏が所蔵されていた資料 2,105 冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

#### イ 利用者拡大に向けた取組について

ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、概ね4半期に1回、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を開催した。

開催日	テーマ	出席者
H29. 4. 29	「応仁の乱 -戦国時代を生んだ大乱-」を読む	74
H29. 7. 13-16	「足利将軍の見た祇園会」	39
H29. 10. 30	「御霊会の剣鋒と小川の町並み」	8

### (3) まちづくり交流サロン

市民に広く開かれたコーナーとして打ち合わせ等ができるサロンを提供している。

### (4) まちづくり工房

リーフレット、ホームページ、フェイスブック、メールマガジン等により、地域や活動団体へ積極的に登録及び利用を呼びかけた。

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行った。

<稼働回数> 45回（平成28年度末実績 53回）

### (5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行っている。

<稼働回数>

ワークショップルーム1：192回（平成28年度末実績 191回）

ワークショップルーム2：195回（平成28年度末実績 219回）

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

### (6) 地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー

ワークショップルーム3において、京町家の構造などが分かる模型や京町家に関わる活動団体の情報を展示する。また、「まちづくりギャラリー」として、景観・まちづくりに取り組む団体に対し、貸しスペースを提供する。

平成29年2月24日（金）～ 「着物づくりと京町家」展（ミニチュアハウスと紙彩画）を常設展示している。

## 8 20周年記念事業

当財団は、平成29年10月に設立20周年を迎えた。これを期に、まちセンのこれまでの歩みを振り返り記念誌として編纂するとともに、シンポジウムやトークライブ等を通じて、今後の京都のまちづくりを展望し、こうした事業を通じて、本市の景観・まちづくりへの機運高揚、まちセンネットワークの拡大等を図った。

### 1 メインシンポジウム

シンポジウムでは、まちづくりの新しい潮流について、文化、歴史、景観を基軸とした地域創生、持続可能なコミュニティの形成をキーワードに、各界で活躍中の方を迎えて、講演とトークセッションを開催し、京都のまちづくりの未来展望を探った。

- (1) 日 時 平成29年11月25日(土) 午後1時30分
- (2) 場 所 ひと・まち交流館 京都 2階大会議室
- (3) テー マ 文化による地域創生とまちづくりの未来
- (4) 基調講演 近藤誠一氏(近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官)

特別講演 吉良森子氏(moriko kira architect 主宰、在オランダ建築家)

特別講演 岩村水樹氏(Google アジア太平洋地域ブランド&マーケティングマネージングディ

レクター兼日本法人専務執行役員 CMO)

トークセッション

司 会 若村亮氏(株式会社らくたび代表取締役)

### 2 トークライブ

京都のまちと接点をもつ独自の取組を展開される方を幅広くゲストに迎え傍聴者と双方向でやりとりを行いながら、それぞれの分野から見た、まちの課題意識、社会の変化、くらしのニーズ等について議論しこれからの京都のまちのあり様を考えた。

開催日	テーマ	登壇者
H29. 9. 27	ものづくりからみる、これからの暮らし	北林功氏(COS KYOTO 株式会社 代表取締役) 鳥屋尾優子氏(ワコールスタディホール京都館長)
H29. 10. 11	『働く』がつくるまちと文化	古賀鈴鳴氏(「世界文庫/世界文庫アカデミー」主宰、デザイナー) 山口一剛氏(朱雀協働計画/京都信用金庫 朱雀支店支店長)
H29. 10. 25	小さなシェアが生む力。	荒木勇輝氏(Tera school [NPO 法人寺子屋プロジェクト] 代表) 紫傘田伸子氏(「日本のシビックエコノミー」編著者)

### 3 まちセン関係者（まちセン設立時以来の評議員（理事）、歴代次長、歴代課長）座談会

#### (1) 新春公開座談会

まちセン設立当初に評議員に就任いただき、現在も財団役員を務めていただいている5人の方々に、まちセンの20年間の事業やご自身の専門の領域から、京都のまちづくりについて振り返っていただき、そのうえで、これから理想とされるまちづくりなどについて、自由に語っていただいた。

ア 日 時 平成30年1月13日（土）  
イ 場 所 ひと・まち交流館 京都 2階大会議室  
ウ テー マ 「夢を語る一京都の景観・まちづくり・京町家」  
エ 登壇者 栗山裕子氏（WIN一級建築設計事務所主宰，（一社）京都府建築士会監事）  
高田光雄氏（京都美術工芸大学教授（工芸学部長），京都大学名誉教授）  
東樋口護氏（（一社）住宅長期支援センター理事長，公立鳥取環境大学名誉教授）  
長谷川和子氏（㈱ケアソシエイツ代表，㈱京都クオリア研究所取締役）  
宗田好史氏（京都府立大学副学長，和食文化研究センター長）

#### (2) 歴代次長座談会（セミクローズ方式で開催）

まちセン事務局次長の立場から、在任当時まちセンがどのような立場に置かれ、どのように導こうとしていたか、まちセンのあり方や注力していたことなど、当時の思い出を振り返りながら、まちセンの今後に向けての意見交換を行った。

ア 日 時 平成29年12月22日（金）  
イ 場 所 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム  
ウ 登壇者 寺本健三氏（株式会社京都確認検査機構）  
吹上裕久氏（都市計画局住宅室技術担当部長）  
齒黒健夫氏（都市計画局建築指導部長）  
上原智子氏（都市計画局都市景観部景観政策課歴史的景観保全担当課長）

#### (3) 歴代課長座談会（セミクローズ方式で2回開催）

現場の最前線の指揮者として、当時どのようなことを感じ、事業に結びつける工夫を創り出す育てる工夫をし、現場からどのような経験を得たかについて、具体事例に即して語っていただいた。また、現在現場で活動する若手職員に、心構えや現場ならではの喜びや苦勞を率直に語っていただいた。

ア 日 時 平成29年9月5日（火）、6日（水）  
イ 場 所 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム  
ウ 登壇者 （カッコ内は、現職）  
谷口一朗氏（都市計画局都市景観部土木担当部長）  
第1回 中島吾郎氏（都市計画局建築指導部建築安全推進課既存建築物対策担当課長）  
（9月5日） 森川宏剛氏（NPO法人京都景観フォーラム専務理事）  
高木伸人氏（都市居住推進研究会事務局長）  
第2回 北川洋一氏（産業観光局観光MICE推進室担当部長・京都市観光協会事務局長）  
（9月6日） 高木勝英氏（都市計画局建築指導部建築指導課長）

### 4 まちセン ビブリオバトル

故巽和夫氏（元京都大学名誉教授）から当財団に寄贈され、「ひと・まち交流館」図書コーナーに設置されている巽和夫記念文庫を活用し、読書週間に併せて、講演会、ビブリオバトル（知的

書評合戦)等のイベントを開催した。これにより、同文庫が京都で学び、研究する人との交流拠点として活用される契機とした。

#### 第1回まちセン ビブリオバトル

- (1) 日 時 平成29年11月4日(土)
- (2) 場 所 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム
- (3) 講 演 「ビブリオバトルとまちづくり」  
谷口忠大氏(立命館大学情報理工学部教授、一般社団法人ビブリオバトル協会  
代表理事)
- (4) ビブリオバトル (バトラーは事前指名制により実施)
- (5) 司 会 大島祥子氏(当財団理事)
- (6) 協 力 一般社団法人ビブリオバトル協会  
巽和夫記念文庫プロジェクトチーム

<参考>20周年記念事業外として実施

#### 第2回まちセン ビブリオバトル

- (1) 日 時 平成30年3月24日(土)
- (2) 場 所 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム
- (3) テーマ 「景観・まちづくり」
- (4) ビブリオバトル (バトラーは事前指名制により実施)
- (5) 司 会 大島祥子氏(当財団理事)
- (6) 協 力 一般社団法人ビブリオバトル協会  
巽和夫記念文庫プロジェクトチーム

### 5 京町家まちづくりファンドまつり

#### (1) ファンド感謝祭

ア 日 時 平成30年2月10日(土)  
イ 場 所 同志社校友会 新島会館本館2階大ホール  
ウ プログラム

- ① 話題提供:大場修氏(京町家まちづくりファンド委員会委員長、京都府立大学大学院教授)
- ② 事業報告
- ③ ゲストスピーチ:  
寺島彰氏(平成23年度選定/上京区)、森紗恵子氏(平成26年度選定/上京区)
- ④ 感謝状贈呈
- ⑤ 記念講演:彬子女王殿下(一般社団法人心游舎 総裁)
- ⑥ アトラクション

#### (2) ファンドオープンハウス

- ①小西邸(平成24年度選定・伏見区/景観重要建造物)  
1月20日(土)
- ②河崎邸(平成18年度選定・東山区)1月21日(日)
- ③寺島邸(平成23年度選定・上京区)1月28日(日)
- ④谷村邸(平成26年度選定・上京区/歴史的風致形成建造物)  
1月28日(日)
- ⑤小西邸(平成24年度選定・伏見区/景観重要建造物)  
2月3日(土)



大場 修氏

(3) 「京町家物語」の作成

上記5軒の京町家の由緒や沿革、現在の暮らしぶりなどをまとめた冊子を作成した。

## 6 20周年記念誌編纂

まちセンの設立以来の多岐にわたる活動内容を振り返ることにより、京都の景観・まちづくりの多様化、複雑化する問題の本質を再検証する機会と材料を提供するとともに、この難題の具体的な解決に向けた施策立案やまちセンのミッションの確立の契機となることを目指して、記念誌（公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター20周年記念「20年の歩みとこれから」）を編纂した。

作成にあたっては、1990年代以降の社会的、経済的、都市計画的状況の変化の中での京都市の施策の変遷を踏まえ、まちセン設立から20年間の景観・まちづくりの取組を概観した上で、地域まちづくり、町家保全・活用および啓発・学習の観点から、個々の地域単位、事業単位での取組を取りまとめた。

また、20周年記念事業として実施した上記1～5の事業について、概要を整理し収録した。

## 公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

### 1 京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

平成 29 年度交付実績：平成 28 年度選定の繰越分 2 件（井山邸、中川邸）  
平成 29 年度選定 1 件（石田邸）

合計 3 件

#### 【助成金交付案件】

平成 28 年度選定 井山邸（中京区）



改修前



改修後

#### 助成対象工事

- ・屋根の改修

#### 活用の概要

- ・住居

堺町通御池通上る、木造本 2 階建て、表屋造り、切妻平入り。明治 11 年から 14 年にかけて建てられた元蚕糸問屋の商家。現所有者の家系で代々居住。明治期の外観写真をもとに数年前に復元改修、今回は大屋根の葺き替え改修。表の間をギャラリーとして活用。

平成 29 年 12 月 14 日完了

平成 28 年度選定 中川邸（上京区）



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修

活用の概要

- ・住居兼事務所

千本今出川の 1 本南の中筋通東入る、木造ツシ 2 階織屋建て、切妻平入り。

構造の安全化が図られるとともに、大屋根葺き替え、外壁新設、外部木製建具等の改修が行われた。

住まい兼事務所として、町家の一部を定期的に公開の予定。

平成 30 年 3 月 10 日完了

平成 29 年度選定 石田邸（下京区）

※「京都を彩る建物や庭園」に選定済み



改修前



改修後

助成対象工事

- ・屋根の改修

活用の概要

- ・住居

黒門通高辻通下る、木造本2階建て、大塀造り。切妻平入りで二階突出部が入母屋、ハシリニワ上部は落ち棟。

大正 14 年の建築、所有者が代々居住。

今回は大屋根の葺き替え改修が行われた。

平成 30 年 1 月 18 日完了

## 2 京町家再生プロジェクト（再掲）

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、世界の歴史的建造物など文化遺産の保護、啓蒙活動を行っているワールド・モニュメント財団（WMF）から支援を受け、地域と一体となって京町家の保全・再生を図るとともに、その取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとするための活動を行っている。

これまでに、特定非営利活動法人京町家再生研究会とともに、第1期プロジェクトである釜座町町家、第2期プロジェクトとして旧村西家住宅の修復を行った。

平成29年度は、第3期プロジェクトとして、四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。

（参考）

- 京町家再生プロジェクト 第1期 釜座町町家（平成23年度）  
第2期 旧村西家住宅（平成24年度）  
第3期 四条町大船鉾会所（平成28～29年度）

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

- H29.4.15 改修竣工記念式典  
H29.4.17 京町家専門講座にて改修に関する説明を開催  
H29.7.20 WMFの普及啓発行事として公開イベントを開催  
H29.7 祇園祭にて一般公開  
H29.11.8 WMFのマクロード副理事長が京都市長を表敬訪問  
H30.3.26 WMF 稲垣日本代表よりユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞への申請に関する説明を受け、H30年5月15日の締切に向けて申請準備を開始した。

改修前



改修後



## **収益事業**

### **京町家まちづくりクラウドファンディング活用支援事業**

広く国内外からの投資を募り、民間からの資金を導入することにより、幅広い担い手による京町家の保全・再生・活用を行い、もって京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承、発展と、まちなみ景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とし、クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する。

#### **(1) 活用事業者の選定及び支援**

京町家を改修、活用して事業を実施しようとする活用事業者を選定し、クラウドファンディングの仕組みを利用し、京町家の改修費用を調達する際に、資金面での支援を行う。

平成 29 年 4 月から第 3 回の支援事業者の募集を開始し、平成 29 年 5 月 10 日に説明会を開催した。京町家関連事業者等への個別の働きかけなど、応募に向けた取組を進めたものの、申込みがなかった。

#### **(2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会運営**

公正かつ効果的なファンドの管理及び運営を行うため設置した京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を運営する。指定事業者及び活用事業者の選定について審議を行う。

平成 29 年度は申込がなかったため、京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を開催していない。

## 法人運営

### 1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

#### 【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 20 回	H29. 6. 2	平成 28 年度事業報告及び決算について 評議員選定委員の選任について 顧問の推薦について
第 21 回 (書面理事会)	H29. 6. 21	専務理事の選任について
第 22 回 (書面理事会)	H29. 11. 28	平成 29 年度補正予算について 第 12 回評議員会の開催について
第 23 回	H30. 3. 22	平成 30 年度事業計画及び収支予算について 平成 30 年度資金運用計画について 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター役員及び評議員の報酬等に関する規定の変更について

#### 【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 11 回	H29. 6. 21	平成 28 年度事業報告及び決算について 評議員選定委員の選任について 20 周年事業の事業内容について
第 12 回	H30. 3. 26	平成 30 年度事業計画及び収支予算について 平成 30 年度資金運用計画について

### 2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行うほか、団体会員の増加のため企業訪問等を行った。

また、平成 28 年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり、会員のメリットが高まったことから、これを積極的に PR し、新たな新規会員の拡大に努めた。

<入会状況> 平成 29 年度末 ※（）内は平成 28 年度末の実績。

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	248 人 (235 人)	1,570,000 円 (1,435,000 円)
団体会員	23 団体 (23 団体)	1,300,000 円 (1,110,000 円)
		2,870,000 円 (2,545,000 円)

【参考】(年間会費) 個人 (1 口) 5,000 円  
団体 (1 口) 50,000 円

### 3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、業務研修、新規採用職員研修等の研修を行った。

開催日	研修名	講師
H29. 4. 3-4. 4	新任職員研修	当財団職員
H29. 4. 6	まちづくりセンターの使命と役割	当財団専務理事
H29. 4. 7	京都市の都市計画	当財団専務理事
H29. 4. 11	京町家事業について	当財団職員
H29. 8. 10	まちづくりコーディネーターのキャリア形成	森川宏剛氏（NPO法人京都景観フォーラム理事）
H29. 8. 16	京都の住民自治 学区に根付く地縁組織とその活動	石本幸良氏（京まちねっと まちづくり専門家）
H29. 8. 24	京都市の空き家対策事業、密集市街地・細街路対策事業について	まち再生・創造推進室 矢田部課長（空き家担当） 足立課長（密集市街地担当）

### 4 その他

環境改善の取組として、KES（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量3%削減 （平成26年度基準）
省資源化	事務用紙使用量削減
啓発活動	建物周辺の清掃 （毎月1回3人以上の参加）
省エネルギー化	京町家カルテ作成 35件 京町家プロフィール作成 65件